

美濃加茂市商業ビル改修工事計画(案) の概要について

商工観光課 内線 260

美濃加茂市商業ビル(以下商業ビル)は、JR美濃太田駅前の活性化のために昭和63年に建設され、市民の皆さんのご支援のおかげで、現在も年間16万人に利用されている拠点的な施設です。

しかし、建設から20年が経過し、ビルを維持管理する上で、重要な設備が老朽化しており早急に改修が必要となっています。

そこで市では、今年度に商業ビルの建物全体および給水管や空調設備などの現状を調査しました。その結果を基に今後商業ビルを計画的に改修したいと考えています。改修は、直ちに切り掛からなければならない緊急工事を平成20年度に行い、それ以降は施設の状況によって、計画的に実施していきたいと考えています。今後、市民の皆さまのご意見を聞かせていただきたいと思います。

◇ 改修する前提条件

- 1 商業ビルは、耐用年数が60年であることから30年ごとに給水や空調などの主要設備を改修します。
- 2 改修は、大改修(リニューアル)ではなく、現状の営業を継続しながら必要最小限の改修を行います。
- 3 今回の改修は、平成30年度までの10年間、現状どおり1階から3階まではシティプラザ、4階以上はホテルとして使用することを前提として行います。
- 4 平成30年度までに耐用年数が切れる設備など必要最小限の改修工事を行います。
- 5 平成31年度以降に改修が必要となる設備についても計画します。
- 6 シティプラザの1階から3階までと、ビル全体の共通スペースおよび基幹設備の工事費は、市が負担します。
- 7 4階以上のホテル経営部分の設備工事費は、ホテル経営会社が負担します。
- 8 工事は緊急度により4つに区分します。

緊急度S = 特に緊急に処置を要する工事

緊急度A = 2～3年以内に処置を要する工事

緊急度B = 4～5年程度に処置を要する工事

緊急度C = 10年程度で処置を要する工事

将来工事 = 次の10年間に処置を要する工事



概算工事費(案)

(単位:千円)

区分	緊急度S	緊急度A	緊急度B	緊急度C	計	将来工事	合計
	H20	H21～22	H23～24	～H30		H30～	
改修工事合計	83,700	73,600	61,100	49,300	267,700	307,600	575,300
(市負担分)	83,700	69,100	50,300	20,000	223,100	254,400	477,500
(ホテル負担分)	0	4,500	10,800	29,300	44,600	53,200	97,800